

永瀬(旭化成)2連覇



男子 81 kg級で五輪2連覇を果たし、金メダルを手にポーズをとる永瀬貴規=パリ (共同)



柔道男子81kg級で史上初

パリ五輪第5日の30日、柔道男子81kg級で、永瀬貴規(旭化成)は決勝で世界選手権3連覇のグリガラシビリ(ジョージア)に一本勝ちし、2連覇を達成した。同級での2大会連続金メダルは五輪初。永瀬は初戦の2回戦、ウルグアイの選手に1分52秒、合わせ技で一

本勝ち。3回戦、準々決勝は延長にもつれる接戦を制した。永瀬は長崎県出身。長崎日大高、筑波大を経て2016年に旭化成に入社。同年のリオデジャネイロ五輪で銅メダル、21年の東京五輪では金メダルを獲得した。柔道日本男子で2連

覇は今大会66kg級の阿部一二三(パーク24)以来6人目、3位の2016年リオデジャネイロ大会から3大会連続メダルは60kg級で3連覇の野村忠宏以来2人目の快挙。

【永瀬貴規の話】この大会は悔いなく自分の柔道を出し切るということを目標に掲げた。すごく重みがある金メダル。五輪という舞台を2回勝ち抜くことができ、本当に幸せだ。

(詳細は8月1日付朝刊で)



柔道男子81kg級

永瀬貴規 ながせ たかのり

リオデジャネイロ五輪銅、東京五輪金メダル

- 1993年10月14日生まれ(30歳)
- 長崎県出身
- 身長182cm

